令和6年度 第3回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議
評価結果（令和6年12月16日開催）

（定期評価）

法人名称	ソーシャルインクルー株式会社
事業所名称	ソーシャルインクルーホーム名古屋大西
事業所所在地	名古屋市港区大西1丁目67番地
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・当事者及び関係者からの直接的な面談等による情報収集を丁寧に行うことで、リスク及び必要な支援方法を共有した上で、受け入れができるように引き続き体制を強化すること。・運営にかかる基本方針を鑑みると、ホームではなく施設化（集団での処遇を前提とした支援）されることが懸念される。そのため、日中サービス支援型グループホームの趣旨を踏まえ、入居者それぞれの個別の人権を尊重した支援に努めること。・事業展開する経営スピードと現場の人材確保の状況にミスマッチが見受けられる。人材確保ができていないなど経営資源が不足している中、事業展開については慎重に努めるようにすること。・入居者を受け入れるにあたって、人材の確保と質の維持は必須であることから、常に必要な人員を確保すること。また、職員の離職は支援の質の低下になることから、非常勤職員も含めた従業者それぞれの技術や経験に合わせた研修に努め、受け入れ可能な体制を整えること。・サービス管理責任者の配置に当たっては、サービス提供の質が低下しないよう、果たすべき役割を検討すること。・各事業所ごとに、利用者支援において習得が必要と考えられる課題を整理し、実情に応じた研修を実施することで職員の資質向上に努めること。・管理者を含めた職員の定着及び離職防止に取り組むこと。また管理者、サービス管理者に従事する職員への法人としてのフォロー体制を強化すること。・利用者の日中の過ごし方や今後の支援方針についての選択を広げていけるよう、利用者に対する意思表示支援等の専門性を向上させ、能動的な働きかけができる人材育成に努めること。・日中サービス支援型グループホームにおける利用者の日中の生活について、どのようなプログラムを設定し、どう運営す

るのか事業所としての理解が不十分であることが見受けられるため、他のホームの取組状況等も見学するなど、事業所としての指針を持つこと。

- 過重労働を防ぎ、不適切な支援や職員の健康が害されないように、労務管理を徹底すること。また、障害のある方への支援の経験を有する者や有資格者の採用をさらに検討すること。
- 研修について法人本部からの指定された研修を受講している現状であり、事業所での現状を踏まえた上での必要とされる研修を実施すること。
- 自立支援連絡協議会の参加について、本来の設置の意味を再考し、自分たちが地域の一事業所として主体性をもって参加をし、活動に取り組むこと。
- 引き続き、個々の利用者の希望や状況を積極的にモニタリングすることによって、現状にとどまることなく積極的な支援方針の検討を行うこと。
- 職員体制や事業所都合で支援するのではなく、利用者の要望、ニーズをしっかりと聞き取り、入浴をはじめ、利用者が希望する生活スタイルが実現できるようにすること。
- 在宅医療やかかりつけ医への通院等の医療体制について、本人の希望や状況を踏まえ、関係機関とも情報共有した上で、適切な連携体制を構築すること。
- 事故発生時の対応状況について、職員間で情報の引継ぎ及び共有が図れていない実態が確認できた。再度、法人内及び職員間の情報の共有を徹底することで、事故発生に対する職員の意識を高め、人権侵害という結果を生まないよう取り組むこと。
- 現場から挙げられるヒヤリハット事例を把握し、その内容を検討した上で、本事業所の従業者の技術・経験に合わせた内部研修を実施すること。
- 引き続き、男性の従業者を確保するなど、同性介助の徹底に努めること。
- 虐待の取組や不適切支援について、職員同士でけん制し、互いに抑止力が働くよう職場環境づくりをすること。
- 評価会議の結果について事業所内で共有を図ること。また法人としても管理者以上の役職者も共有を図り、今後の事業運営に活かすこと。
- 港区という地域特性を踏まえ、関係部局や地域の実情に応じた関係者・機関と相談の上、防災計画の充実に努め、災害時に、対応が可能な体制を整えること。